

# りそな外為レポート

## りそな WEEKLY COLUMN

### りそな外為レポート

#### スーパーチューズデー、全候補者入場！！ (P2)

りそな銀行 市場トレーディング室  
カスタマーディーラー 高尾 俊哉

今週のドル円予想レンジ **105.50 ~ 109.00**

### りそなWEEKLY COLUMN

#### マネー・ローンダリング (P3)

埼玉りそな銀行 資金証券部  
マネージャー 伊藤 まこと

- 年末を沸かせた逃亡劇はマネー・ローンダリングを考える契機に
- 潔癖・真面目の日本人気質で「犯罪ができない国・日本」で世界のTOPでいたい

2020/3/2

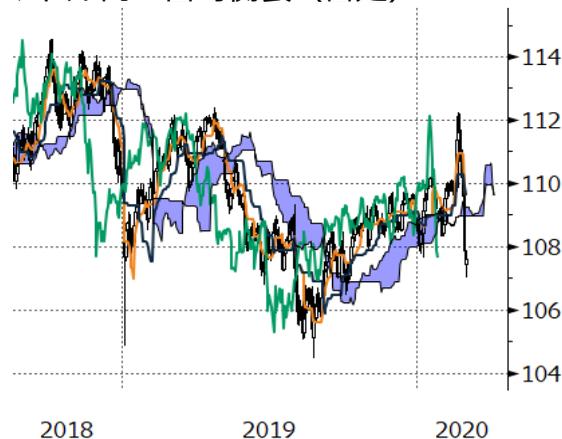
# りそな外為レポート

## スーパーチューズデー、全候補者入場！！

今週のドル円予想レンジ **105.50 ~ 109.00**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

### ◆ドル円一目均衡表（日足）



### ◆為替相場のすすめ

選挙戦では政治経験がものを言う！オバマ時代の副大統領がきてくれた！中道派ジョー・バイデン！！  
 富裕層なんて大嫌い！大企業にも増税だ！彼女は常に庶民の味方、エリザベス・ウォーレン！！  
 左派と言ったらこの人は外せない！若者人気のおじいちゃん、大本命民主社会主義者、バーニー・サンダースだ！！  
 ダークホースが今ベールを脱ぐ！頼りないから俺が来た！個人資産6兆円超えの前ニューヨーク市長、マイケル・ブルームバーグ本日出陣！！  
 わかああああい！説明不要！38歳、ピート・ブティージェッジ！！注目のアイオワ州で勝利もまさかの前日リタイアか！？  
 偉大なアメリカが帰ってきたッ！どこにいったんだ大統領ッ！俺たちは君を待っていた！共和党現職、ドナルド・トランプ大統領だーツツ！！  
 以上のメンバーにより米大統領選予備選を執り行います！！  
 株安は現職大統領に向かい風！サンダースなど左派候補者勝利による、さらなる株安・ドル売りに今週はお気を付けください！！  
 (グラブラー刃牙大好きディーラー 高尾 俊哉)

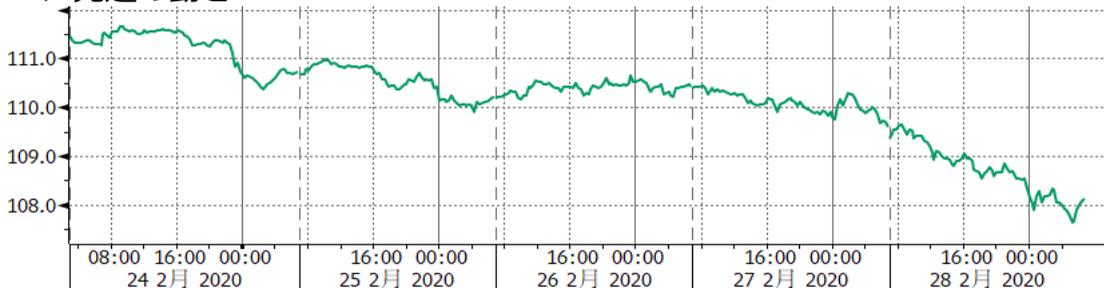
### ◆今週の日程

2日(月) 米 2月ISM製造業	5日(木) 米 2月製造業受注
3日(火) 米 大統領選予備選(スーパーチューズデー)	5日(木) 他 OPEC臨時総会(ウィーン)
3日(火) 欧 2月CPI	6日(金) 米 2月雇用統計
4日(水) 米 2月ISM非製造業	6日(金) 米 1月貿易収支
4日(水) 米 米地区連銀経済報告	7日(土) 中 2月貿易統計

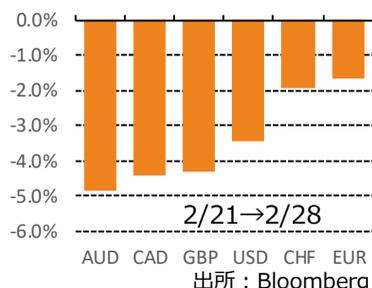
### ◆今週の予想 (ドル高 強い ↑ 普通 ↑ ドル安 強い ↓ 普通 ↓) NY引け値 2月28日(金) 107.89円 VS 3月6日(金)

東京							大阪				埼玉					
尾	中	湊	井	鳥	田	高	中	伊	佐	鈴	武	野	小	津	石	伊
股	根		口	井	中	尾	里	藤	藤	木	富	瀬	林	田	井	藤
↑	↓	↑	↑	休	↑	↓	↓	↑	↓	休	↑	↑	↑	休	↑	↓

### ◆先週の動き



### 主要通貨対円パフォーマンス



◎注意事項  
 お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

# りそな WEEKLY COLUMN

## マネー・ローンダリング

- 年末を沸かせた逃亡劇はマネー・ローンダリングを考える契機に
- 潔癖・真面目の日本人気質で「犯罪ができない国・日本」で世界のTOPでいたい

埼玉りそな銀行 資金証券部  
マネージャー 伊藤 まこと

### 年末を沸かせた逃亡劇

今マーケットでは新型コロナウイルスの影響が注視され、年末を沸かせた逃亡劇もすっかり昔話のように聞こえます。プライベートミリタリーカンパニーを使って、楽器箱に隠れての脱出（逃亡）は衝撃的でした。15億円ともいわれる逃亡資金のドルをどうやって払ったのか、お金はどこにあったのか気になるところです。フランスや中東を絡めて脱税をしていた嫌疑もありました。日本の司法制度に関しては言い分があるところなのでしょうが、日本で受けた報酬をTAXヘイブンに持ち込み、マネー・ローンダリング（資金洗浄、以下マネロン）をしていたというのであれば辛口コメントをしたくもなります。今回コラムを読んでくださる皆様に、改めてマネロンを知る契機となれば、せめてもの救いで

### 日本におけるマネロン

マネロンとは、『一般に、犯罪によって得た収益を、その出所や真の所有者が分からないようにして、捜査機関による収益の発見や検挙を逃れようとする行為』をいいます。日本では、組織的犯罪処罰法及び麻薬特例法においてマネロンが罪として規定されています。国内外で対策が取られていますが、国際的にはFATF(ファトフ)という1989年のアルシュ-サミット経済宣言により設立された政府間機関があり、マネロン対策やテロ資金対策などにおける国際的な協調指導、協力推進などを行い、国際基準の策定や加盟している国・地域・機関への勧告、勧告遵守の推奨など指導的役割を担っています。大元は、麻薬取引を封じ込めることから設立された機関ですが、1989年の米国同時多発テロを受けて、テロ組織への目が厳しくなり、総じて犯罪と思しき疑わしい取引についても取り締まるような対策を講じています。

過去にFATFの審査で不備の指摘を受けた日本では、犯罪収益移転防止法、施行令及び規則の改正を行い、特定事業者に対する法令上の義務を厳格化し続けています。日本が不備とは、少々驚きがあるのですが国内でテロが発生していないため国民自体に危機感が薄いことが対策の遅れといわれています。ここ数年の改正事項としては、顔写真のない本人確認書類に係る本人確認方法について（平成28年10月1日に施行）、仮想通貨交換業者を特定事業者に追加（29年4月1日に施行）カジノ事業者を特定事業者に追加（平成30年7月27日に公布）。直近では犯罪収益移転防止法の規定における「仮想通貨」の用語を「暗号資産」に改めるほか、暗号資産の交換等を伴わず、他人のために



# りそな WEEKLY COLUMN

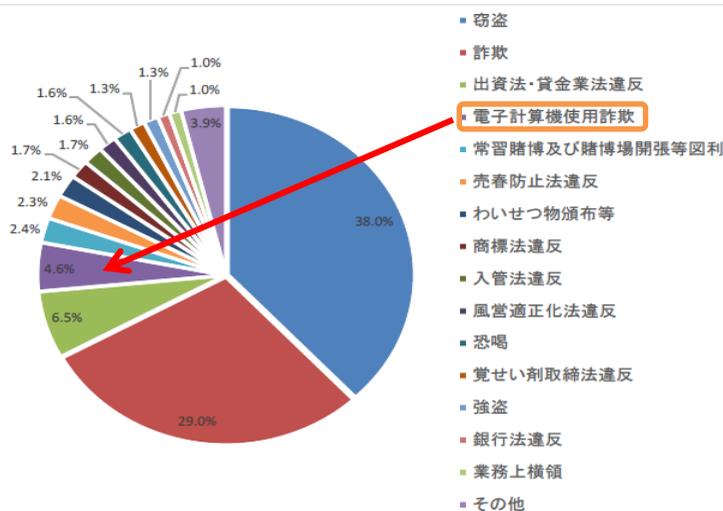
行う暗号資産の管理を業として行う暗号資産交換業者についても、特定事業者を追加、しています。（令和元年6月7日に公布）対策の遅れは、犯罪組織に狙われ続ける可能性や、外国銀行が邦銀経由の送金を受けつけにくくする（金融犯罪にまきこまれるような銀行と取引したくないため）可能性も生じかねず、金融機関にとっては業が停止してしまうことになりかねず、経営面でも重要視されています。

## マネロンの実際

日本でマネロンを行う主体は、暴力団、特殊詐欺の犯行グループ及び来日外国人犯罪グループが挙げられています。特殊詐欺グループについては、電話を架けるなどして対面することなく信頼させ、不特定多数の者から現金等をだまし取る手口が多発しています。オレオレ詐欺もそうですね。かけ子、受け子、入れ子と組織的に詐欺を敢行するとともに、詐取金の振込先として架空・他人名義の口座を利用するなどしています。遊興費や生活費欲しさから自己名義の口座や偽造した身分証明書を悪用するなどして開設した架空・他人名義の口座を安易に譲り渡す者等がいるためマネロンの敢行をより一層容易にしていると分析されています。

令和元年12月の『犯罪収益移転危険度調査』によれば、平成28年から30年までの間におけるマネロンの前提となる犯罪は、窃盗が483件と最も多く38.0%を占め、次いで、詐欺（368件、29.0%）、出資法・貸金業法違反（82件、6.5%）、電子計算機使用詐欺（59件、4.6%）、常習賭博及び賭博場開張等凶利（30件、2.4%）となっています（下記表参照）。

【組織的犯罪処罰法及び麻薬特例法に係るマネー・ローンダリング事犯の前提犯罪別の  
検挙事件数・割合（平成28～30年）】



# りそな WEEKLY COLUMN

事実を知れば過度に恐れる必要はないことから、このうち、金融機関の身近で起きている検挙事件数4番目にあたる電子計算機使用詐欺罪の形態を見てみましょう。

## 『犯行形態』

電子計算機使用詐欺罪が適用される犯罪として、特殊詐欺やインターネットバンキングに係る不正送金等の事犯がある。特殊詐欺の形態としては、近年、被害が増加しているキャッシュカード手交型の形態で、だまし取ったキャッシュカードを使ってATMを操作し、他人名義の口座に振込送金するもの等がある。インターネットバンキングに係る不正送金事犯の形態としては、他人のID、パスワード等を使って金融機関が管理する業務システムに対して不正にアクセスし、他人の口座から預金を不正送金するものがあり、平成30年中の被害は発生件数322件に対して被害額は約4億6,100万円であった。また、不正送金の一次送金先として把握した562口座のうち、名義人の国籍等はベトナムが約62.8%を占め、次いで日本が約14.8%、中国が約13.3%であった。特殊詐欺については、上述のとおり、暴力団の関与が認められるほか、インターネットバンキングに係る不正送金事犯については、国際犯罪組織の関与が認められ、犯罪組織が多額の犯罪収益を獲得するために、組織的にそれらの犯行を行っている実態が認められる。

## マネー・ローンダリングの手口

電子計算機使用詐欺を前提犯罪としたマネー・ローンダリング事犯の手口として、特殊詐欺でだまし取ったキャッシュカードを使用して、ATMで引出上限額の現金を現金させるとともに他人名義の口座に送金上限額を振込送金させる手口、中国に存在する犯罪組織が日本の金融機関に不正アクセスを行い、他人名義口座に不正送金させて中国人犯罪グループによって引き出すもの等がある。』

不法な取引によって得たお金は、そのまま所持していた場合には、捜査機関は当然そのお金を取引の証拠品として押収することになりますし、有罪が確定すれば、「犯罪行為によって得た物」として裁判所に没収されます。犯罪者側からすれば、不法な取引で得たお金を証拠品として押収されるのを免れ、お金の出所を隠蔽しながら早く『使えるお金』にしたいのです。マネロンは必ずしも大きい金額のやりとりというわけではありません。

私自身も兄と偽る者からの電話を受けたことがあります。人間の心情を傷つける行為は実に不愉快なものですが、『人間』がいる以上消えないのかもしれない。では、こうした詐欺から身を守るにはどうしたらよいのでしょうか。「わかっています、知っていますよ」と思いがちですが、新たな手口を知らせてくれる最寄りの自治会、銀行、警察からの啓蒙活動には耳を傾けましょう。関心を持ってみると「ふむふむ、知らなかった！」と新しい情報がインプットできるはず。そして、ITが進化して金融犯罪も高度化している今は「留守するときは鍵をかける」のように「インターネットにつながるならセキュリティー対策する」のが当たり前という世の中になってしまった、と受け止め、守り備えについては真剣に感度を高めていきましょう。個々の防衛意識を高め「犯罪ができない国、日本」として皆で自国を守っていききたいものです。

「犯罪ができない国、日本」へ

